

平成 30 年度第 5 回 地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会 会議録

1 日 時 平成 30 年 8 月 9 日 (木) 17 時 00 分～18 時 10 分

2 場 所 静岡市役所静岡庁舎本館 3 階 第 1 委員会室

3 出席者

(1) 委員

足羽委員、狩野委員、西田委員、袴田委員、村上太郎委員、村上仁委員

(2) 行政

平松保健福祉長寿局長、鈴木保健衛生医療部長、山本保健医療課長
<保健医療課> 戸塚保健医療課医療事業係長

(3) 法人

宮下理事長兼病院長、上松副理事長、秋本事業管理部長、
萩原総務課長、市川人事課長、望月経営課長、小林医事課長、中川施設課長

4 傍聴者 0 人

5 議 題

- (1) 第 1 期中期目標期間見込評価に係る意見まとめ及び市評価について
- (2) 業務の実績評価及び見込評価に係る全体評価について
- (3) 業務実績評価に係る評価委員会意見書について
- (4) 第 2 期中期目標パブリックコメント案について
- (5) その他

6 会議内容

- (1) 開 会
- (2) 委員長挨拶
- (3) 議事

※冒頭、前回、次回会議時に説明するとされた「感染管理システム」について、法人から説明あり。

①第 1 期中期目標期間見込評価に係る意見まとめ及び市評価について、及び、業務の実績評価及び見込評価に係る全体評価について

○西田委員長 それでは議事に入ります。議事(1)「第 1 期中期目標期間見込評価に係る意見まとめ及び市評価について」及び議事(2)「業務の実績評価及び見込評価に係る全体評価について」は、どちらも市の評価結果の報告になるので一括議題とします。事務局から説明をお願いします。

○山本保健医療課長 資料 1～3、参考資料 1 に基づき説明

②業務実績評価に係る評価委員会意見書について

○西田委員長 ただ今、評価委員会から意見聴取を行った上での市の評価について報告をいただきました。この評価結果を承ったところで、次の議事(3)「業務実績評価に係る評価委員会意見書について」事務局から説明をお願いします。

○山本保健医療課長 資料 4 及び 5 に基づき説明

○西田委員長 足羽委員いかがでしょうか。

- 足羽委員 印象としては、もう少し豊富なものをイメージしていました。A3の概要版も記録として残るものの、意見書には会議の中でいろいろ出された意見が載るものとイメージしていました。こういうものでしょうか。
- 山本保健医療課長 意見書には定まった様式はありません。他都市の事例を見ると、会議録で済ませているもの、ワンペーパーにまとめているもの、評価書の中で意見を記載しているもの、それぞれであります。本市においては、平成27年度の目標・計画策定時に出された意見書と同じような形で今回案を作成してみました。もちろんこれは事務局案ですので、ご意見があれば、対応いたします。
- 西田委員長 地方独立行政法人というものはイギリスから輸入したもので、日本での歴史は浅く、地方独立行政法人立の病院は2006年度から始まりました。まだ手探りの中で事務局から案が出されたということではないでしょうか。
- 狩野委員 印象としては簡素でシンプルであると感じます。特に2つの意見が特出しされていますが、もう少し色々な意見が意見書の中に反映されていてもいいのではないのでしょうか。
- 村上太郎委員 説明を聞きつつも、(簡素なものであることに)なんとなく腑に落ちない部分もあります。手探りの段階であると思うが、市長に対して提出するものでもあるので、もう少し具体的な項目を出していただいた方がいいと思いました。
- 村上仁委員 確かに、非常にシンプルでどのような議論をしたか分からない印象です。
- 袴田委員 初めてのことなので、こういう形式とすることの是非がよく分からないのが正直な感想です。ただ、表現として「法人」と「静岡病院」が混在しています。法人と病院を使い分けるとしても、「静岡市立静岡病院」ではないでしょうか。また、「心疾患」という言葉はわかりにくいので、「心臓疾患」にすべきだと思います。
- 宮下理事長 「静岡病院」だけだと他病院と混同する恐れがあるので、言葉としてふさわしくないと思います。また、「心疾患」についても袴田委員のご指摘とおりだと思います。
- 狩野委員 資料5の2において使用されている「特徴とする専門」という表現は分かりにくいので、別の言葉に変えるべきだと思います。また、資料1の第1-5-(2)のなかで「国はかかりつけ医を持つように進めている」とありますが、「勧めている」とどちらが正しいのでしょうか。
- 山本保健医療課長 「特徴とする専門」については了解しました。「進めている」とは「推進」の意のつもりでしたが、確認のうえ修正します。
- 西田委員長 各委員からの意見を踏まえると、意見書の事務局案では評価委員会での意見が反映されていないということでしょうか。
- 足羽委員 反映されていないというわけではなく、集約されすぎているということです。また、文書として、最後に「以上」を付けたほうがいいと思います。私たちが時間を掛けて議論したものが会議資料としては残るものの、もう少し意見書に盛り込んでいただきたいと思いません。
- 山本保健医療課長 了解しました。事務局案を再度作成のうえ、各委員にお示しし、最終的には委員長一任で決定させていただくということによろしいでしょうか。
- 西田委員長 そのようなやり方でよろしくをお願いします。

③第2期中期目標パブリックコメント案について

- 西田委員長 それでは、これまでの審議結果を踏まえ、議事（4）「第2期中期目標パブリックコメント案について」、事務局から説明をお願いします。
- 山本保健医療課長 資料6に基づき説明
- 西田委員長 袴田委員いかがでしょうか。
- 袴田委員 （P3（6）「高度医療」の項目について、）「心・血管疾患」ではなく、「心臓・血管疾患」の方がわかりやすいと思います。
- 村上仁委員 その意見に賛成です。
- 山本保健医療課長 了解しました。
- 狩野委員 （同項目において）「静岡病院の特徴であり、強みである心・血管疾患治療」という表現が分かりにくいと思います。
- 宮下理事長 「静岡病院の伝統と実績を有する心・血管疾患治療」という表現がよろしいのではないのでしょうか。
- 村上太郎委員 「高度医療・専門医療」を「高度・専門医療」という風に、まとめることはしないのでしょうか。
- 山本保健医療課長 事務局で調べたところ、どちらの表記も一般的に使われていましたので、このように表記しましたが、その点のご意見もいただけたらと思います。
- 西田委員長 袴田委員いかがでしょうか。
- 袴田委員 （同項目②「がん」において）高度医療の項目の中に、（本来は高度医療に当たらない）緩和ケア等はいれない方がよいと考えています。（もし、入れるのであれば、）この項目には医療と緩和ケアの記述がありますが、地域がん診療連携拠点病院であることを踏まえて、（がん対策の一環である）予防・検診・診断といった文言を入れた方がよいと思います。現在、検診によって、ピロリ菌による胃がん、C型肝炎、子宮頸がんなどに対する予防や早期発見ができるので、治療と一緒に組むことを入れてはいかがでしょうか。
- 平松保健福祉長寿局長 現在、がん対策の一環として、自民・公明・志政会から議員提案という形での市の条例化に向けた検討がこれから始まるところです。条例として成立すると、検診などの予防医学、教育、がん患者に対する支援、就労など、様々な分野を視野に入れた計画を作っていくこととなります。その中で、病院がどの分野を担うことになるのかは未定です。検診について、静岡病院におかれてはどのように考えるかご意見を伺いたいです。
- 宮下理事長 本市における検診は、主に市医師会が運営するメディオとSBS検診センターが中心となって担っています。検診というのは、保険対象になる医療ではなく、一般的には公立病院は積極的には行っていないのが現状だと思います。しかし、病院が検診部門を持たないことは不都合があるので、本病院でも規模は大きくないものの体制は整えています。PET/CTを使用した検診や乳がん検診等も実際に手掛けておりますので、中期目標に検診等の文言が入ったとしても問題はありません。また、「高度・専門医療」という言葉については、高度かつ専門という意味にも取れ、最先端の医療という響きやニュアンスが強く出てしまっていますが、2つに分ければ、高度医療と高度でない専門医療という読み解きができるものと思います。本病院は、静岡市葵区に位置し、この地域の広義での二次医療を担っているなかで、全31診療科の中には常時高度医療を行っているわけではない診療科もありますが、それぞれがその

専門医であるために日々努力していますので、心臓・血管疾患、がんだけにスポットが当たることは必ずしも好ましいものとは考えません。組織としては小さくても学会の専門医の資格を取って診療に携わっている診療科もありますので、「専門医療」という言葉があれば心臓・血管疾患、がんを扱う診療科以外の科にとっても励みになるものと考えます。

○平松保健福祉長寿局長 宮下理事長のお話にもあったとおり、検診は、医療ではなく保健の分野であるため、法人の目標に入れることについて逡巡してしまいましたが、お話を踏まえ検討したいと思います。

○袴田委員 平成 29 年度の実績として、高度医療の項目に、子宮体がん等の検診への取組が挙げられていたことから、予防から始まる一連のがん対策を目標に書いた方がわかりやすいかなと考えて発言しました。ただし、検診は高度医療とは異なるものなので、項目を分けた方がよいという考えも十分理解できます。

○宮下理事長 当院における検診については、他の医療機関や検診センターと連携しながら行っていくという、現状に見合った内容で目標に入れていただければと思います。

○西田委員長 事務局におかれては、これまでの委員等からの意見を踏まえて、パブリックコメント用の目標案を作成するようお願いいたします。

④その他

○西田委員長 最後に、議事(5)その他について、事務局から説明をお願いします。

○山本保健医療課長 パブリックコメントの期間や今後の会議に進め方、次回会議の日程等を説明

※パブリックコメント予定期間 平成 30 年 8 月 24 日(金)～平成 30 年 9 月 24 日(月)

※次回会議日程 平成 30 年 10 月 5 日(金)19:00～

○西田委員長 今回の会議をもって、法人の業務実績評価に係る一連の作業が終了しましたので、ここで法人の代表である宮下理事長からお言葉をいただければと思います。

※宮下理事長 謝辞

○西田委員長 それでは、本日の議事を終了します。事務局に進行を返します。

※平松保健福祉長寿局長 謝辞

(4) 閉会

地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会

委員長 西田 在賢